

## 英独ではどのように料金メニューの多様化が進んでいるか？

後藤 久典

小売全面自由化後には、需要家から選択されるために多様な料金メニューを提供することが供給者にとって重要となる。家庭用需要家にとっては、ニーズにあった選択肢が増えることは望ましい。全面自由化後、移行措置としての規制料金が撤廃された英独を例に、どのように料金メニューの多様化が進んでいるのか探してみる。

電力中央研究所が昨年末から今年の 2 月にかけて英独の主要な供給者の料金メニューを調査した結果、多様な料金メニューが提供されていることがわかった (表)。そのポイントは 4 つある。

第一に、料金体系は総じて単純な二部料金制が基本である。逡減型の料金体系を提供する供給者は 2 社と少ない。ドイツでは時間帯別料金を提供しない供給者もあった。

第二は、需要家との長期的な関係構築を目指したものである。卸電力価格等に応じて単価が変動する料金がある一方、こうした変動リスクを回避する料金がある。後者には料金単価を一定に固定するタイプの他、単価に上限を設定するものもあり、需要家は契約期間中 (例えば 1 年や 2 年) には大幅な料金上昇を心配する必要がない。供給者にとっては顧客離脱リスクを減らせる。長期契約割引等も長期的関係構築を目指したものである。調査したすべての供給者がこの種の料金メニューを提供しており、自由化後の主要な料金メニューとなっている。

第三は、需要家にとってわかりやすい割引である。オンライン請求書割引等のサービス簡素化に伴う割引や新規顧客獲得を意識した新規契約割引が提供されている。イギリスの 2 社には電気とガスの一括契約による割引もある。

第四は、環境意識の高い需要家向けのものである。その代表例はグリーン電力料金であり、若干割高 (例えば、英 SSE で 5~7% 程度、独 E.ON で 1~3% 程度) ではあるが英独とも複数の供給者が提供している。提供するのは 1 社だが、前年比で年間 10% 以上の使用量削減等に対して一定額の割引が提供されるものもあった。

英独では同じ供給者の別の料金メニューに変更した家庭用需要家が欧州の中でも多く、イギリスは供給者変更率も高い。多様な料金メニューは需要家からも一定の支持を得ているといえる。

一方、規制当局には、安い料金メニューを需要家が必ずしも選択していないとの見方もある。この背景には、需要家は自身の電力消費実態はもちろん、料金体系等について詳しくなく、料金メニューを検討する時間も限られ、多種多様な料金メニューを検討することが容易でないという規制当局の考えがある。

イギリスの規制当局 Ofgem は、需要家が料金メニューを適切に選択できないと小売競争が進展しないとみて、料金メニューを簡素化すべきと考えている。2013 年 3 月には、一部の逡減型の料金体系を改め単純な二部料金制に簡素化し、料金メニューの数を各社原則 4 つまでに制限するなどの小売市場改革の最終案を公表した。しかし、料金メニューの種類

ゼミナール (50)

や数を規制すると、料金メニュー開発の余地を狭め、かえって競争を阻害することにもなりかねないとの意見もある。

わが国でも、全面自由化後の競争の中でどのような料金メニューを創り出していくかは、供給者が需要家のニーズを見極め自ら判断することである。規制当局は、供給者のこうした創意工夫を阻害することがないように、料金メニューへの介入に慎重であるべきである。

	国→	イギリス			ドイツ			
	供給者→	SSE	E.ON UK	British Gas	E.ON	RWE	EnBW	Yello
(1) 料金体系	二部料金(基本料金と一律の従量料金単価)	○	○	○	○	○	○	○
	増増型料金				なし			
	減減型料金			○		○		
	時間帯別料金	○	○	○		○		
(2) 長期的関係構築	固定型料金(単価一律固定、契約期間等の条件は複数あり)		○	○	○	○	○	○
	上限設定型料金(契約期間中は上限の料金単価を超えない)	○						
	長期契約割引(契約時に割引単価を適用)	○	○	○	○			○
	契約継続割引(契約更新時に一定額の割引を提供)		○				○	
(3) わかりやすい割引	新規契約割引				○		○	
	デュアル燃料割引(電気とガスの一括契約)		○	○				
	オンライン請求書割引	○	○	○		○		
(4) 環境・省エネ対応	グリーン電力料金	○			○		○	○
	節電割引(使用量の削減等に対する一定額の割引)	○						

(注) 2012年12月～2013年2月時点で契約可能な料金メニュー。SSEはスコットランドの既存事業者(旧名称は Scottish and Southern Energy)。YelloはEnBWのグループ会社。

(出所) 電力中央研究所報告 Y12028 の表を加筆修正。

表 英独の供給者の家庭用電気料金メニューの例

電力中央研究所 社会経済研究所 電気事業経営領域 主任研究員

後藤 久典 / ごとう ひさのり

2005年4月入所。

専門は、マーケティング、消費者行動分析。特に、小売自由化後の事業戦略、需要家行動の分析に従事。